



国家公務員共済組合連合会

佐世保共済病院 広報誌

2013
vol.13
第4号

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



INDEX

- ごあいさつ
院長 木寺 義郎 ①
- 歯科研修制度について
- 産科医療功労者厚生労働大臣表彰
祝賀会 ②
- 診療活動の現況..... ③
—眼 科—
- マタニティヨガの紹介..... ⑤
- 産婦人科外来に3D/4D 超音波診断
装置が導入されました。
- 地域医療連携室より ⑥
- 年末年始の管理当直体制
- 編集後記
- 外来診療担当表..... ⑦

「きらきらフェスタ2013」撮影：相良 利博 氏

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号 TEL0956-22-5136(代)

紹介受付専用FAX(医療連携室) 0120-12-2067 HP <http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

急患室直通 FAX 電話 0956-22-6052 (代) FAX0956-25-0662 ※休日・夜間のご連絡は、急患室直通的番号でご連絡下さい。

ごあいさつ

院長 木寺 義郎



一般にはあまり知られていませんが、産科医療に貢献した個人、団体を表彰する「産科医療功労者厚生労働大臣表彰」制度が平成21年に創設されました。産科医療の現場の日頃の労苦を慰労し顕彰することで、とくに地方の産科医療の崩壊の危機をいくらかでも回避したいという思惑も窺われます。

今年度は思いもよらずに私とその荣誉に浴する機会に恵まれました。全国では41名の個人および団体として4施設が選出されて、10月2日(水)に厚生労働省に赴いて表彰を受けました。昨年度は佐世保市立総合病院産婦人科の村上 誠先生が顕彰されておられます。総合病院に続いて当院も、地域の診療所と一体となって長崎県北の産科医療を支えてきたという証を頂いたということでもあり、感謝の気持ちで受彰させていただきました。

なにぶん分娩は予測できないイベントであり、産科医は24時間、365日拘束されているといっても過言ではありません。また急変するリスクを孕んでいるために小児科、麻酔科、手術室およびNICUなど多職種のスタッフに負担をかけるのではないかと不安が付き纏います。このようなストレスがあり、残念ながら本制度創設後にも産科を専攻したいという若手医師が増えたという情報はありません。

今回の表彰式でも印象的であったのは、欠席や代理出席が目立ったことでした。お役所は吉日を選んで晴れの舞台を設定して下さったものと思いますが、代行医を探しにくい週日では1日でさえ休めない人もいるという厳しい現実が明らかになりました。改めて地域の周産期医療を支えることの責任の重さを学んだ1日でもありました。



医聖ヒポクラテスを象った記念品

歯科研修制度について

歯科口腔外科部長 窪田 泰孝



後列 右から2番目 歯科研修制度登録医 西田先生
前列 左から臨床研修医 本田先生、窪田先生、矢内先生

当院はこの度地域歯科医療機関の先生に歯科口腔外科外来、病棟を開放する歯科研修制度を新設致しました。歯科口腔外科には佐世保市歯科医師会をはじめ近隣の歯科医師会のご協力の下、口腔外科疾患に対する専門性の高い医療を提供することができる環境が整いました。そこで、今後はオープンシステムを利用した新たな医療サービスを提供したいと思います。歯科研修制度では簡単な登録手続きをしていただくだけで、佐世保共済病院の様々な検査機器の利用や口腔外科の技術修得、治療の実施が可能になります。ぜひご利用いただき、地域医療の活性化に役立てればと思います。

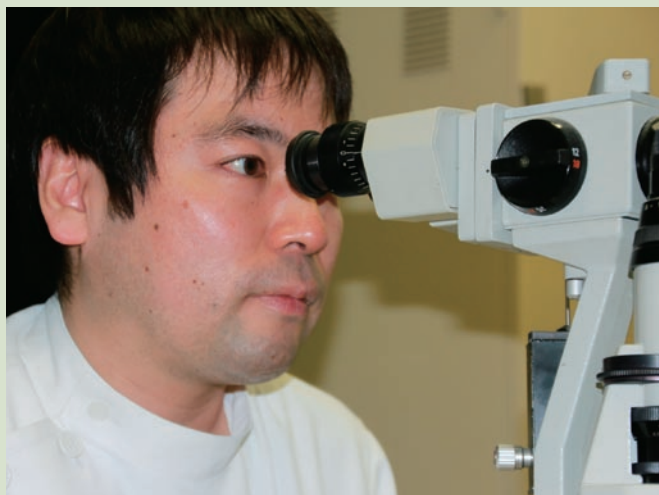
当院の木寺義郎院長が、この度「産科医療功労者厚生労働大臣表彰」を受彰した事を祝って、去る10月31日に佐世保市内で祝賀会が開催されました。会には佐世保市内の産科医会、小児科医会を中心に多くのご開業の先生方や行政関係者、当院の産科スタッフ、医師をはじめ多くの参加があり盛会でした。佐世保医師会の久保次郎会長からは「長崎県北の人口当たりの産婦人科医の数は県平均の約半分で非常に繁忙であり、近い将来お産難民が生じることすら危惧される。その中であって佐世保共済病院産婦人科の活躍は大変貴重であり、今後更に小児科医を増やして周産期医療を益々充実されることを願っています。」とのご祝辞を頂きました。

当院の周産期医療に寄せる地域医療関係者の期待の大きさが感じられると共に、周産期医療をめぐる地域の先生方と当院スタッフの交流の場にもなった祝賀会でした。



花束を受けとる木寺院長、(右) 太郎浦会長 (共朋会)





原 潤 眼科医長

【はじめに】

眼科の領域でも医療機器の進歩に伴い以前に比べると細かい病態の把握ができるようになりました。以前ならば失明していたような病気でもなんとか視機能を温存できるようになったものもあります。

当科では、医師2名、視能訓練士1名、外来看護師3名のスタッフで診療にあたっており、手術症例は年間約400例ですが、そのほとんどが白内障手術です。

当科で扱う様々な疾患のうち、主なものについて説明します。

【結膜炎】

結膜の充血、眼脂、ときに掻痒感、眼痛を伴う疾患です。原因は、細菌、ウイルス感染、アレルギーなどがあり、その多くは点眼治療で治癒しますが、中にはいわゆる「流行り目」と呼ばれる流行性角結膜炎（アデノウイルス感染症）のように、強い炎症を起こすと治癒に時間がかかるものもあります。

【霰粒腫、麦粒腫】

いわゆる「ものもらい」のことです。感染症である場合とそうでない場合がありますが、まず、点眼薬、眼軟膏、内服薬で治療し、治癒しない場合は、切開排膿を行うことがあります。

【ドライアイ】

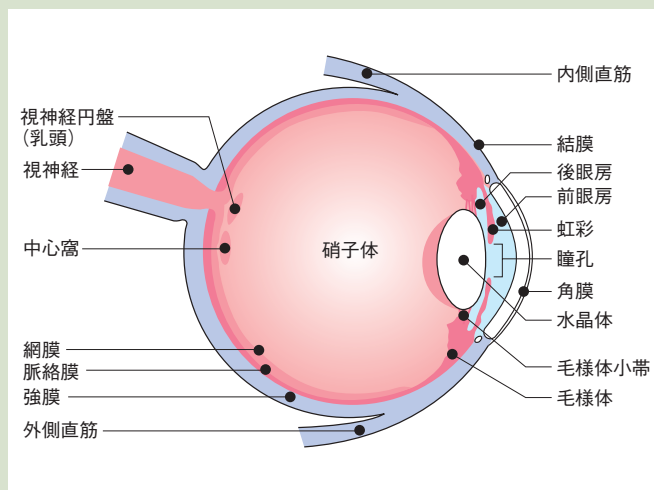
「乾き目」のことです。角膜（黒目）に傷がついて、眼痛、異物感を伴うことが多く難治性です。近年パソコンや携帯電話の使用過多などに伴い増加しています。様々な点眼薬が開発されており、複数の点眼薬が必要になることがあります。それでも症状が治まらない場合は涙点プラグ挿入という治療をすることもあります。

【ぶどう膜炎】

虹彩、毛様体、脈絡膜（茶目とその周囲）の炎症のことです。半数以上は原因不明といわれていますが、糖尿病の患者に多い傾向があります。また、ヘルペスなどのウイルス感染や、関節リウマチなどの自己免疫疾患の患者に併発することが知られています。治療は原因によって様々ですが、炎症が強い場合はステロイド剤の内服、結膜下注射を行うことがあります。

【白内障】

水晶体（レンズ）が濁ることにより「かすみ」が生じ、進行すると羞明、複視を訴えることもあります。多くは老人性のものですが、中には外傷、糖尿病などの全身疾患、紫外線、放射線などの環境因子によるものがあり、若年発症の場合もあります。点眼治療を行います。最終的には多くの場合手術治療が必要になります。



眼球水平断（右側）

でも視神経の機能が低下し失明する場合があります。

【糖尿病網膜症】

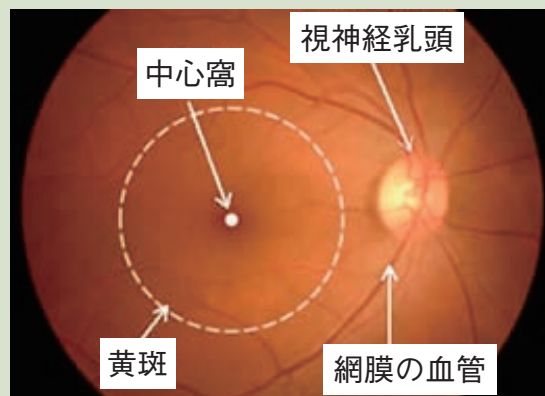
糖尿病の3大合併症のひとつで、糖尿病に罹患してから10年前後で発症するといわれていますが、血糖コントロールが悪いと早く発症することもあります。糖尿病は、全身の血管の流れが悪くなりやすい疾患ですが、網膜の血管から出血を起こし網膜に栄養が行き渡らなくなると視機能が低下し、治療が遅れると視力の回復は困難になります。進行すると失明することもあります。当院では、内科と連携し糖尿病患者の治療に努めており、レーザー治療や硝子体手術を行っています。

【加齢黄斑変性】

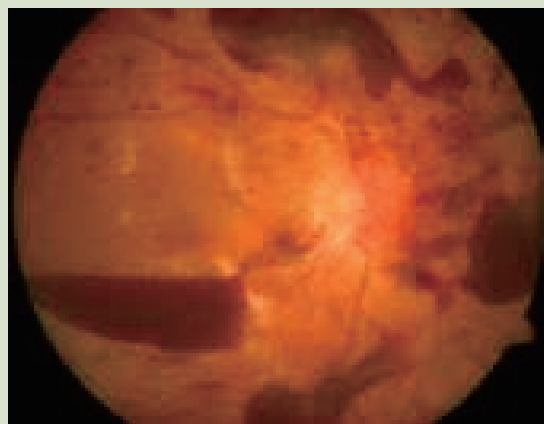
近年増加している疾患のひとつです。加齢とともに発症しますが、いくつかのタイプがありなかなか治療が難しい疾患です。網膜の中心(黄斑部)に病的な新生血管が出来て、そこから網膜の内層その外に出血が起こるため、目標の中心が見えなくなり視力が低下します。ここ数年の間に抗VEGF薬(新生血管を抑制する注射薬)の治療が可能となり、視機能の維持に大きく寄与するものとなっていますが、治療費が高いことや定期的に注射を続ける必要があることなどが問題です。当科では症例によっては、PDT(光線力学的療法)という特殊なレーザー治療も行っています。

【網膜剥離】

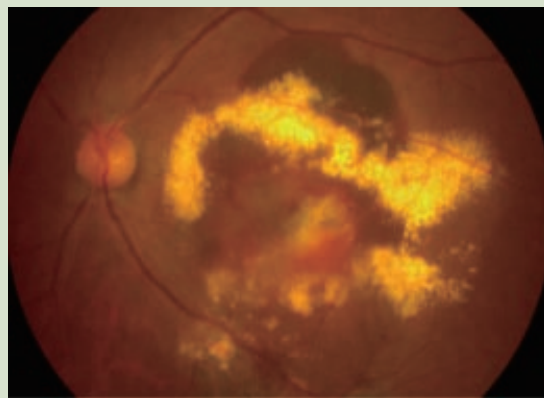
網膜にできた変性層から破れ目が生じ、網膜の下に硝子体(目の中のゲル状の組織)が入り込むことで網膜が剥がれる疾患です。近視が強い人に起こりやすく、治療としては、眼球の外側から当て物をあてる強膜バックリング術や、硝子体を取り除き目に中にガスまたはシリコンオイルを注入する硝子体手術があります。変性層の周囲にレーザー治療を施すことで網膜剥離



正常眼底写真



増殖糖尿病網膜症



加齢黄斑変性症

の予防が可能です。当科では主に予防のためのレーザーと硝子体手術を行っています。

【おわりに】

他にも様々な疾患の治療を行っていますが、それぞれの疾患によって治療の到達目標が異なります。今後も引き続き、少しでも患者様の生活の質の向上に役立つように診療に取り組んで行く所存です。

マタニティヨガ開催

産婦人科病棟師長 前田 生子



マタニティヨガの様子（8階大講堂にて）

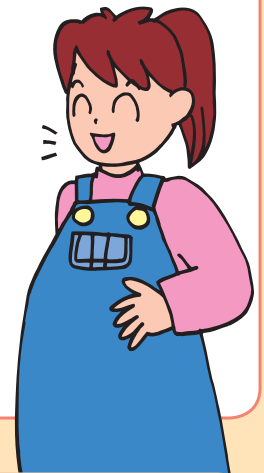
の不快感の症状を軽くすることや、快適な出産・産後をおくるために妊娠中から身体づくりを行なうことを目的としています。

現在、2回開催しましたが、妊婦さんからは、「妊娠中あまり動いたらいけないと思っていたけれど、運動の大切さが実感できた。」「リラックスできた。」などの声も聞かれてとても好評です。

10月より、毎月1回（第4火曜日 13:30～15:00）当院で妊婦健診を受けている妊婦さんを対象にマタニティヨガを開催しています。

助産師とヨガインストラクターがそれぞれの立場から、妊娠中の身体作り、妊娠・出産に向けての自分の身体との向き合い方について、お話とエクササイズを行います。

心と体をリラックスさせて妊娠中



産婦人科に3D/4D エコーが導入されました

当院の産婦人科外来は、この度3D/4D 超音波診断装置を導入いたしました。4Dとは立体を意味する3Dに時間のファクターを取り入れた動きのある立体画像ということで、3D画像がリアルタイムに動いている状況を観察することが可能です。

当装置では、これまで見る事が出来なかったお腹の中の赤ちゃんの表情や仕草などを、立体的な動きとして見る事ができます。お母さんは赤ちゃんが微笑んだり、しかめっ面したり、悲しんだり、あくびをする仕草や色々な表情をご覧になることができますので驚かれると思いますが、赤ちゃんに対する愛情は、一層深くなっていくものと思われます。



お腹の中の赤ちゃん



超音波診断装置

地域医療
連携室より
Part.
22

たなか整形外科クリニック

〒857-1174 佐世保市天神2丁目15-33

TEL 0956-32-9393



たなか のぶひろ
院長 田中 信博 先生

平成 16 年に久留米大学整形外科を退局後、増田整形外科で 6 年間勤務し、平成 22 年 4 月に天神町に、たなか整形外科クリニックを開業しました。共済病院の皆様には、萩原副院長が率いられる整形外科をはじめ、放射線科、外科、皮膚科などに紹介する機会が多く、いつも迅速な対応と適切な処置をしていただき、こころより感謝申し上げます。当院の紹介先は共済病院が一番多いのですが、患者さんの満足度も非常に高く、安心しておすすめしております。

さて、整形外科は九州大学から出向されておられますが、福岡県出身の私としては、とても親しみを感じています。九大の教授であり、日本整形外科学会の理事長をされている岩本幸英先生は、久留米大の野球部の先輩でもあります。学会や OB 会、福岡ドームでの交流戦などで



田中院長とスタッフの皆さん

は気さくに声を掛けて頂き恐縮しております。学生時代、公式戦ではありませんが、生涯一度のサイクルヒットを打ったことがあります。その時の九大のエースが松田秀一先生であり、なんと彼は、京都大学の整形外科教授となられました。同級生ではありますが、頭の下がる思いです。(野球の話ばかりですみません)

スポーツ整形と関節外科を専門にしておりましたが、開業すると、幅広い領域をみなければならず、だんだんと臆病になるものです。

共済病院の先生方にはこれまで以上の連携を今後ともよろしくお願い申し上げます。

年末年始の管理当直体制

	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日
8:30～ 17:30	整形外科	循環器内科	二次輪番日 (内科・外科)	眼 科	整形外科	放射線科	外 科	泌尿器科	耳鼻咽喉科
17:30～翌8:30	循環器内科	放射線科	二次輪番日 (内科・外科)	整形外科	皮膚科	外 科	外 科	眼 科	整形外科

編集後記

今年の流行語大賞にノミネートされた言葉は例年よりインパクトがあったように感じます。一説によると景気がよくなると流行する言葉が増えるそうです。個人的には「おもてなし」が一番印象的でした！ホスピタリティの精神を忘れずに患者さん・家族に接していきたいと思えます。

編集委員 森木 達彦



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 25 年 12 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考 (専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医長	金谷 晶子			●		●						腎臓疾患
	医員	松本圭一郎	●						●				腎臓疾患
	〃	吉崎 真衣					●				●		腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患
	医員	戸次 宗久	●						●				循環器疾患
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患
	〃	溝口ミノリ				●							循環器疾患
	〃	瀧井 英一										●	循環器疾患
	〃	西田 憲史	●		●								循環器疾患
呼吸器内科	非常勤医	鈴木 邦裕										●	呼吸器疾患
	〃	横山 哲也					●						呼吸器疾患
消化器内科	部長	河野 健次				●			●				肝臓疾患
	医員	梶田 清貴				●		●					消化器内科疾患
消化器センター			●		●		●		●		●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等
			下村		富崎		佐藤		片桐		井原		
外科	診療部長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科
	部長	原田 洋				●					●		消化器外科・乳腺外科・一般外科
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	医長	三笠 圭太	●				●				●		血管外科・一般外科
	〃	佐藤 寿洋				●					●		消化器外科・一般外科
	医員	片桐 光浩	●								●		一般外科
	〃	下村 晋				●				●			一般外科
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科
〃	武田 雄二								●			呼吸器外科 (第1・3・5週のみ)	
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい (要予約)
			佐藤		片桐		原田		原田		下村		
小児科	診療部長	岡 尚記	●		●			●		●			小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息
	医長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、食物アレルギー、気管支喘息
	乳児健診					●							火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい
	慢性外来							●					水曜 午後2時から診察開始
喘息外来									●			木曜 午後2時から診察開始	
脳神経外科	部長	川口 務	●		▲		●		●		●		脳神経外科 ▲は10時30分までに受付を行って下さい
	頭痛外来 (完全予約制)			●	●	●		●					月曜、水曜:午後2時30分～午後4時30分 火曜:午前11時～午後0時30分、午後2時30分～午後3時30分
紹介は全て予約制です。予約のお問合せは医療連携室までご連絡ください。													
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科
	部長	久我 尚之			●		●		●				脊椎外科、腰痛、骨軟部腫瘍、骨折
	医長	花田麻須大	●						●				手の外科、マイクロサージェリー
	〃	水城 安尋			●		●				●		肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患
	医員	佐々木 大	●				●		●				関節疾患、骨軟部腫瘍
	〃	内村 大輝	●		●						●		肩関節疾患、スポーツ障害
	〃	新井 貴之	●						●		●		整形外科一般
〃	松下 優			●		●				●		整形外科一般	
皮膚科	医員	白井 礼子	●		●		●		●		●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹、皮膚腫瘍 男性型脱毛、陥入爪、ピアス、皮膚腫瘍手術 (水・金の午後)
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染
	部長	江口 二郎	※		●				●		●		男性不妊 (江口部長) ▲の診察は第1週のみ10時30分からです ※:第2・4週 (江口部長) 第1・3・5週 (中村医長) が診察を行います
	医長	中村 貴生	※		●		●		▲				
産婦人科	院長	木寺 義郎	●								●		産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
	部長	鶴地 伸宏	●		■		●		●		■		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		●: 婦人科診療日 ■: 産科診療日
	〃	松隈 敬太							●				
	医員	二尾 愛	●■		●				●		■		
〃	大塚 純一	●				■				●			
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、 眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー凝固術
	医員	篠田 美佳	●		●	※	●	※	●		●	※	※: 火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来 (要連絡)
耳鼻咽喉科	医長	竹内寅之進	●		●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患
	医員	丸田 弾	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
	医員	深江 俊哉											
	〃	宮田 裕作											
麻酔科	部長	深野 拓			●				●				月～金午前バイン・緩和ケア外来
	医長	木本 文子	●				●				●		月～金午後は手術麻酔
	非常勤医	吉村 真紀											
〃	別府 幸岐												
病理診断科	診療部長	井岡 充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	●	●	●	●	●	●		●	●	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、顎関節症、口腔腫瘍
	医員	矢内 雄太	●	●	●	●	●	●	●		●	●	菌性感染など
健診センター	部長	佐藤 浩信	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155										
	医長	原 敬一											